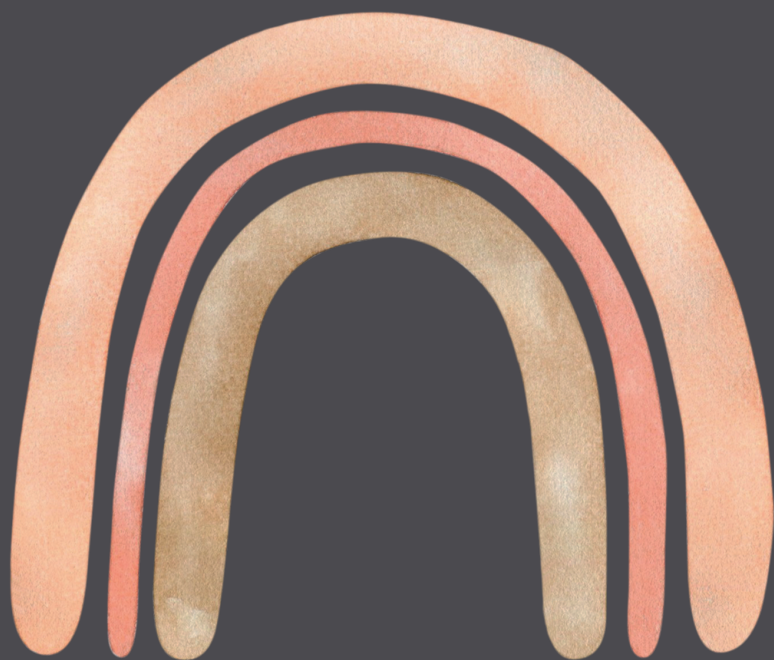


意識改革グループを 始めるために



FiLiA のレガシープロジェクト

女性グループを立ち上げることは革命的な行為です！



女性グループは、女性の解放と抵抗に不可欠な組織化単位です。

意識改革グループは、第2波フェミニストたちが共に活動し、女性としての経験から学ぶことで、私たちの政治的分析を発展させ、そして何より重要なことには、共に行動を起こすための方法として開発されました。

本稿の執筆はリン・アルダーソン（第2波のラディカル・フェミニストで、生涯にわたる活動家）

意識改革（コンシャスネス・レイジング）とは何か？

女性はこの社会で過小評価され、大きなプレッシャーにさらされています。意識改革（コンシャスネス・レイジング＝CR）とは、そうした状況の中で、女性同士が語り合い、女性や少女としての自身の経験を共有していく方法です。

これはセラピーではありません。もちろん、自分が人生の中で感じた困難を、同じ経験を持つ人たちと話すことは非常に助けにはなりますが、セラピーとは違います。というのも、私たちの経験は単に個人的なものでも、私たちだけのものでもなく、女性に共通したものであり、私たちを女性に作り上げているものの一部だからです。女性グループはまた、フェミニストの行動や女性解放運動にとっての基本的な組織化手段でもあります。女性たちが集まり、抑圧をより深く理解し、それに抵抗するために協力する行為は、すべての女性のための正義を求める行動と闘いにつながります。多くの女性がフェミニズムの考えを共有しているかもしれませんが、私たちが運動を構築するのは行動によってのみであり、CRは何よりもまず抑圧についての理解を共有し、それを終わらせるために協力することなのです。

この方法は1970年代のフェミニズムの第2波の時期に発達したのですが、今でも、シンプルなグループディスカッションを立ち上げ、私たちの経験が、フェミニズムの政治理論、連帯、そして共に行動する力を構築するための基礎となっています。

CRを行なうことは、私たちの人生について考えたり感じたりするためというよりも、私たちの人生や経験の真実を探求するためのものです。神話や嘘を暴き、現実を明らかにする方法なのです。たとえば、1970年代には、女性たちは男性からの暴力の経験を探求しました。

以前は、男性による暴力は、個々の悪い男性や少数の男性が犯す悪事であり、さらにはそれを挑発したり「自ら招いた」女性によって引き起こされるものであるとみなされていました。悪いのは女の方だという理解が広く社会的に受け入れられていました。しかし、女性たちが経験を共有することで、それが特別なことではなく、男性が支配を強いる手段として機能していることが明らかになりました。すべての女性がこのリスクを認識しており、しばしば威嚇されたり怯えたりして、行動するのを躊躇していたのです。私たちは、自分が被害者であろうとなかろうと、男性の暴力が私たちの人生全体にどのように影響するかを理解し始めました。

それは、私たちの身に起こることを理解する方法から、それに対する私たちの行動に至るまで、すべてを変えました。その洞察、すなわち、それは何らかの異常心理や一部の「悪い」男性の問題ではなく、権力の問題であるということが広く認められるようになっていきます。フェミニストは何より、女性にとってのこの真実を認識するために戦ってきたのです。この真実は女性によって（そして他の者によっても）再発見され続けています。男性による女性への暴力をめぐる最近のデモや怒りの爆発は、フェミニストたちが長年この問題に取り組んできたにもかかわらず、この問題が解決にはほど遠いことを示しています。

しかし、フェミニズムの第2波では、「夜を取り返せ」デモや政府機関に対する女性団体の研修などを通じて、フェミニストの行動が起こり、虐待を受けた女性のための（そして多くの場合、女性による）避難所やサービスの設立につながり、政府や各種機関がこの問題をより広く認識し、多くの政策の改良や法改正につながりました

CRを行なうことは、私たちの人生について考えたり感じたりするためというよりも、私たちの人生や経験の真実を探求するためのものです。神話や嘘を暴き、現実を明らかにする方法なのです。たとえば、1970年代には、女性たちは男性からの暴力の経験を探求しました。

以前は、男性による暴力は、個々の悪い男性や少数の男性が犯す悪事であり、さらにはそれを挑発したり「自ら招いた」女性によって引き起こされるものであるとみなされていました。悪いのは女の方だという理解が広く社会的に受け入れられていました。しかし、女性たちが経験を共有することで、それが特別なことではなく、男性が支配を強いる手段として機能していることが明らかになりました。すべての女性がこのリスクを認識しており、しばしば威嚇されたり怯えたりして、行動するのを躊躇していたのです。私たちは、自分が被害者であろうとなかろうと、男性の暴力が私たちの人生全体にどのように影響するかを理解し始めました。

それは、私たちの身に起こることを理解する方法から、それに対する私たちの行動に至るまで、すべてを変えました。その洞察、すなわち、それは何らかの異常心理や一部の「悪い」男性の問題ではなく、権力の問題であるということが広く認められるようになっていきます。フェミニストは何より、女性にとってのこの真実を認識するために戦ってきたのです。この真実は女性によって（そして他の者によっても）再発見され続けています。男性による女性への暴力をめぐる最近のデモや怒りの爆発は、フェミニストたちが長年この問題に取り組んできたにもかかわらず、この問題が解決にはほど遠いことを示しています。

しかし、フェミニズムの第2波では、「夜を取り返せ」デモや政府機関に対する女性団体の研修などを通じて、フェミニストの行動が起こり、虐待を受けた女性のための（そして多くの場合、女性による）避難所やサービスの設立につながり、政府や各種機関がこの問題をより広く認識し、多くの政策の改良や法改正につながりました。

CR はまた、女性同士の友情ネットワークであり、相互支援を構築する方法でもあります。一緒に仕事をしたり、政治的な抗議行動に参加したり、必要だと思ふプロジェクトを立ち上げたり、集団で問題に取り組む最善の方法を考えたりするのです。これはとても重要であり、現在、かつてなく重要になっています。なぜなら、女性たちは SNS 上で攻撃のターゲットにされたり、性的対象物から良き母親に至るまで、あらゆる役割を果たさなければならないという大きなプレッシャーにさらされているからです。女性は家庭の内外で働いていますが、しばしば非常に孤立しています。一緒に集まることで、個人と集団の両方の力が育まれるのです。

それは大きな楽しみにもなります。深刻で難しい問題に取り組むときでも、私たちには笑いが必要なのです。私たちはお互いの話に耳を傾け、ともにじっくり考えることで、学び合います。女性だけがお互いを理解し、女性のために発言することができるからです。フェミニストの組織化は、私たちの声を世間に届けることです。自分たちのために立ち上がるときも、他の女性のために立ち上がるときも、私たちは一緒にいることでとても強くなれるのです

CR 実践の基本ルール

CR のグループ・ミーティングは、女性たちが一通り、自分の近況を少し話したり、全員が必ずしも顔見知りでない場合は簡単な自己紹介をしたりすることから始めることができます。可能であれば、お互いのアパートや家など、非公式でプライベートなスペースで会うのがベストです。

必ずしも円形に座る必要はありませんが、グループ全体に話が回るようにしましょう。たとえば、テーブルの一番前に 1 人だけ座っているようなことのないようにします。参加者全員が対等な関係であることを確認するためです。とはいえ、その中の 1 人ないし 2 人が準備などの役割を果たしても問題ありません。

次に、その日の選ばれたテーマについて話し合いを始めます。通常、全員が事前にテーマについて考えてきてもらい、テーマに関連する何かを読んでくれるよう、前もってテーマを発表しておきます。

各女性は、自分の経験から、テーマについて自分の気持ちを話そうとします。グループ全体に話が回るよう、全員にほぼ同じ時間だけ話す機会を提供します。必要であれば、それぞれが話すタイミングを計ってあげてください。自分のことを話しやすい女性もいれば、そうでない女性もいるからです。

しかし、原則として、どの女性もちゃんと貢献することができるのだと考えてください。たとえ一人がすぐに話し始められなかったとしても、割り込んではいけません。それぞれの参加者のための時間を残しておきましょう。パスしたい女性がいる場合、後でもう一度話してもらおう機会を保障しましょう。



守秘義務

このCRのプロセス全体が機能するためには、お互いの信頼関係を築くことがとても重要です。そのため、グループでの話し合いの内容をいっさい外に出さないことを最初から明確にしておく必要があります。



正直さ

お互いのできるだけ正直でいること。これは、グループがお互いをよく知るようになるにつれてより容易になっていくはずで、最初のミーティングで、参加者が自分の身に起こった最悪の出来事を話さなければならないというわけではありません。何が自分にとって適切な話であるかは、それぞれの参加者が決めることです。しかし、あなたにできる最高の、思慮深い貢献をしましょう



聞くこと

積極的に聞くこと、人の話に耳を傾けることが重要です。ただ座って自分の番が来るのを待つのではなく、他の女性が話している内容に真剣に耳を傾けることが重要です。女性たちは自分のことを話したり、聞いてもらったりすることに慣れていないかもしれません。ですから、他の女性たちの話の中で共通点や相違点を見つけるために耳を傾けるのです。これは、みんなが同じであるとか、同じ経験をしているとか、同じように考えているとか、決めつけているのではなく、共通点と同じくらいに相違点からも多くを学べることを意味します。



話を遮ったり質問したりしない

それぞれ順番に話してもらいましょう。そして、話を遮ったり質問したりせずに、次の参加者に進みます。この集団的なプロセスでは、個々の話し手についてどう感じたとしても、全員の話聞くことで、最終的に自分の視点が変わり、より大きなもの、政治的な全体像を見えてくるようになります。



全員での話し合い

全員に一通り順番が回ったら、より一般的な話し合いに移ります。この段階でも、1人や2人が場を支配しないようにしましょう。他の女性たちが貢献できるような余地を残すよう各自が気をつけましょう。これはけっしてフォーマルなものではなく、全員が話を聞いたり結論を探求したりできるような機会を提供する場なのです。

同じ話題について、もっと対話を続けたいと思うかもしれませんし、外に出て何かを読みたいと思うかもしれません。また、次にどうするかや、一緒に何をするかについて話し合うこともできます。具体的な活動やプロジェクトに取り組んだり、一緒にデモに参加したりすることで、互いの結束や尊敬の気持ちを高めることができます。



女性のみ

このプロセスは、女性が自分たちの少女時代や女性としての経験を通じて学ぶことに基づいています。また、女性だけの環境で活動することは、説明を超えた重要な影響を与え、それらともラディカルなものになりえます。

そこでは、他の女性や自分自身を新しい視点で見ることができ、男女間の伝統的な力関係に縛られない状況でこそ、私たちは成長することができるのです。これまでこうした経験を持っていなかったなら、なおさら見方が変わり、変革も生まれることでしょう。このことこそ、女性たちがこれまでも常に女性同士で集まり、女性として組織化する必要性があった理由の一つなのです。そこには大きな変革の可能性が秘められています。



コミットメント

信頼関係を築き、本音で意見を言い合える場を作るには、時間がかかることもあります。時には争いが起こることもあります。しかし、それは驚くことではありません。そのため、努力を続けること、違いを尊重し、忍耐強く、思慮深く、そして、もう一度言いますが、相手の意見に真摯に耳を傾けることが必要なのです。

多くの女性は、抑圧的な社会の中で日々生きていくことで感じる不正義やプレッシャーに対して、根本的な怒りや不満を抱えています。家父長制の中で生きること、私たちはみな傷ついています。怒りに向き合う最善の方法は、それを行動の原動力にすることです。

ミーティングの計画はかなり前もって立てておき、できるだけミーティングに出席できるようにしましょう。これは、女性として共に活動することが大切なことであって、自分の人生にお

いて重要であることを示すものでもあります。それは、自分が望み、必要とし、そうする権利のあるものであって、自らその努力をしないかぎり、それは起こらないのです。

そして、性差別や人種差別、階級差別、反レスビアン感情など、女性が経験するさまざまな抑圧の形態に立ち向かうことが大切です。そのことは、グループ内にそれらの特殊な問題に影響される女性がいるかどうかにかかわらず、かかわりません。

女性としての生き方を理解し、変革に取り組むということは、すべての女性の解放にきちんと考慮し、女性が抑圧されるさまざまなあり方を理解しようとするこゝなのです



グループをクローズドにする

グループがそれなりの数の女性で満たされ、新しい参加者を加えるとこれまで何とかうまくいっていた流れが変わってしまうと感じたら、グループをクローズドにしてもかまいません。他の女性たちが参加したいと言ってくれば、別のグループを立ち上げるよう勧めましょう。その際に手助けをしてあげてください。他の女性たちがあなたのグループの活動を知り、それに興味を持つようになれば、自分でもグループを立ち上げたいと思うようになり、CR運動がより広がっていくことでしょう。

全員が話す時間を確保するには、集まる人数を考慮する必要があります。一晩に2～3時間しかない場合、約10人の女性に5分ずつ話す時間を割り、全体討論に1時間を使うことができます。

ただし、10人は話し合いにはちょっと多いかもしれません。5人から8人がちょうどよいのではないかと思います。たとえば最初は3人から始めて、参加してくれる人を探すこともできます。これは必ずしも簡単なことではありませんが、FiliAの経験で言うと、女性たちの間には、政治的な意味で女性が集まることに大きな関心があり、たいいてい参加を熱望します。

みんなが同じ場所にいないのであれば、別のやり方もあります。例えば、年に数回、週末に集まって、集中的な活動を行なうグループもあります。他に手段がなければ、オンライン・グループを考慮することも可能です。しかし、実生活の中でいっしょに集まることが、ずっと望ましいと考えられています。

グループの種類

グループの形態にはさまざまなものがあります。たとえば、同様の困難を経験している女性たちが互いに支え合うために集まるサポート・グループです。男性からの虐待を経験したサバイバーのためのグループはその一つです。それはとても成功しました。また、実用的なプロジェクトに取り組むグループもあります。共同生活のための住宅を探すグループを結成したり、出版物やニュースレターを作成するグループを立ち上げるなどです。このようなグループは、CRの手法を用いることで、より親しくより効果的なグループを形成するのに役立ちます。

さらに、特定の問題に焦点を当てて長年にわたり活動を続けるグループもあります。たとえば、黒人、アジア系、ユダヤ系の女性グループ、レズビアンのグループ、母親グループ、高齢の女性グループなどです。あるいは、著述家のグループ、または健康問題や女性の身体について学びたいグループなど、活動ごとのグループもあります。

いずれにせよ、CRの手法を用いることで、あらゆる幅広い問題を探求することができるのです。女性なら誰もが経験したことがあるようなトピックスから始めてもいいし、「社会が女性に対してどのように偏見を持ち、制限を加えてきたか」という非常に広いテーマ、あるいは、「女性は自分の服装を選ぶ権利があるが、ポルノ映画に出てくるような格好をした女性を見るのは気分が良くない」といった矛盾から始めてみることもできます。テーマを選ぶ際には、抽象的な言い方をするよりも、「私はこうしたい」という言い方をする方が有益です。また、セクシュアリティなど、難しいトピックスに取り組む場合には、信頼関係が深まってからにしましょう。

個人的なことは政治的なことであるという認識から出発し、ともに集まり、集団的なコミットメントの下で行動を起こすこと...

これこそ、運動を構築する私たちのやり方です

